



通算才26号

1964~65-12-2

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第24回例会

本日のプログラム

スライド "ロータリー会員の養成"

司会新会長 斉唱 "君が代" 手に手つないで。

ビジター 伊部政次郎君 他6名 (函館R.C.)

島田敬君 他17名 (函館東R.C.)

会長報告

- 1, 当クラブの出席が非常に劣ります。努めてメーク・アップされたい。
- 2, 11月27日函館の3R.C. 会長幹事の才1回会合を五島軒で行いました。会費及び入会金の値上げは再度討議することになりましたが、何れか一方が上がると思います。社会奉仕は三クラブ連合で行う方が好都合であるので、三クラブの社会奉仕委員長の会合を持つことになりました。又プログラム委員長、親睦委員長同士の会合を持つことも必要との決論が出ました。
- 3, 遠藤副会長より新入会員を御紹介します。

幹事報告

- 1, 例会終了後理事会を行います。
- 2, クリスマス家族会の打合わせを行いますので、プログラム、親睦及SAAの委員の方々はお残り下さい。
- 3, 例会事項変更 函館東R.C. 12月18日はクリスマス会合です。又12月29日の例会は28日に繰上げます。

ニコニコ箱

NHK 歳末助け合い運動にベンケイ綿KKより5万円の寄贈があり、その様子がテレビにのりました。おめでとう並に有難りを申し上げます。(金賞)

出席報告 (前回分)

会員数29名 当日出席20名 他欠出席2名 計22名 (75.86%)

競争の激しい現代では、店に来る客だけを待っている様ではいけない。ミツバチが蜜を求めて探す様に、積極的にこちらから出掛けてゆく。これが商売繁昌の才一步ではなからうか。

2. "ボヤボヤしちやいらねえ (生産管理のA.B.C.)

ある小さな下請工場の、工場長の目を通してスライドが展開されて行つた。下請工場の生命は品質と納期である。彼の工場はその点で、親会社の評価はCクラスであつた。そこで当然工場管理が問題となつた。工場管理の理想は、働く人が楽に、而も良いものを安くつくるにある。又その相談役として商工指導所もあり、診断、指導を受けることが極めて有効である。

さて彼の工場でも彼個人の意志に反して工場管理の研究がなされた。彼は怪我を口実に工場を休んだ。「工場ではもう俺に用がなくなつた。然し熟練工上りの俺がいなければうまくゆく筈がない。」と思ひながら。……

然し工場では、種々の困難を克服しながら、少しづつではあるが、工夫がなされ、改良が行われて行つた。社長自ら現場に立ち、工員の声を聞き、騒音防止や工員の疲労を除く工夫もされ、運搬車が入り、機械の配置も考え、機械も改良された。かくして品質も向上し、納期も確実になり、遂に3倍の能率を上げるに至つた。

すねてはみたものの、彼はやはり機械の虫であつた。工場長のつくつてくれたきつかけにより、彼は再び無中で機械と取組むことになつた。そこに彼が見たものは、生まれ変わった様な工場であつた。そして又、親工場では、あれ程立派なのに尚飽き足らず、まだまだ改良すべく努力していることを知つたのである。彼はつぶやいた。「ボヤボヤしちやいらねえ。」

スライド終了後遠藤副会長は述懐しました。「人間の頭は使う為にある。」

出席報告 (前回分)

会員数30名 当日出席19名 他欠出席2名 計21名 (70%)

次回 (12月9日) のプログラム

映画 題未定

1. 函館のイカ 昔から(約70年前)函館とイカは密接な関係があつた。大正の末頃私の父が始めて動機舟を使用し、以後発動機船ブームが出現した。昭和23年私が50馬力20吨の新造船で沖合にイカを探し当て、連日大漁で評判になつたことがある。今日では50吨以上の大型船も出現している。
2. 漁獲法 昔はトンボ針2本で1・2尾宛釣上げていたのだが、戦後は1人で20本位の釣針を使う様になり、今日では1人で100本の針をグルグル廻していれば自然にイカが針に掛り船内に落ちる様に機械化され能率化されてきた。
3. イカと函館の経済 昔から道南はスルメの集散地として有名であつた。敗戦により貿易が止り、スルメが売れなくなり(主に中国)、所謂大漁貧乏の時代が続いた。然し昭和30年頃からイカ燻製に成功し今日の珍味加工の隆盛をみる様になつた。現在函館では珍味加工品が年間約50億円、全水産加工品で約100億円近い実績をあげている。尚昨年はイカ原料の在庫が常時1万屯であつたが今年は凶漁の為今年の約2割しかない状態で、越年期間をどう乗り切か憂慮されている。然し私の経験ではイカ資源が枯れる事はないと思つている。
4. イカの習性に付ては12月1日付道新に掲載されているので御覧願いたい。

ロータリーは先ず出席から

1. 次回例会日は12月16日です。もし当日お差支えがあれば一出来るだけ12月15日(火)、12月22日(火) 函館東R.C.(共愛会館)
12月10日(木)、12月17日(木) 函館R.C.(五島軒)
のいずれかに出席してマーク・アップして下さい。
2. 100%出席確保の方法。自分のクラブ例会に欠席した後で補填する事を考えないで、先に稼いでおくことです。来週用事がありそうな時は、具体的には明日(木曜) 函館クラブに出席しておくことです。そのことによりあなたの来週の出席が確保されます。後で穴埋めをすることは気分的に負担となる許りでなく、万一予定したマーク・アップが出来なかつた場合に完全に穴があきますから。その点函館では函館東(火)、当ク(水)、函館(木)と3日連続出席れば3週分の出席が確保出来る訳で、恵まれていると言えます。

※ 次回のプログラム 映 画 (題未定)



通算才28号

例会場 明治生命館

1964~65-12-18

第26回例会

函館北ロータリークラブ

17.00~17.30

※ 司 会 新 会 長 ※ 斉 唱 “奉仕の理想”
※ 会 長 挨拶

1. 本日の例会終了をクリスマス家族会を行います。ゲストとして会員の御夫人・御令息並に御令嬢の多数の御出席をいただき、誠に有難うございます。内容は配布のプログラムを御覧願います。
2. この機会に御家族の皆様にもロータリーの御理解と関心を持つていただきたい。ロータリーのメンバーはすべてクリスチャンと言う訳ではないが、ロータリー・クラブでは一般の風潮にならつて、クリスマス前後に家族会を行う事になつており、クリスマスの会に家族の方が集まる事は非常に有意義であると思ひます。

クリスマス・ツリーは本当は“樅の木”で、これを銀の斧で切つて来るのだそうで、一つの儀式となつています。私共はその様なことは出来ませんが、せめてもと思いツリーは私が切つて来ました。商業クリスマスでなく、精神的な意味を重視したいと思います。

ロータリーのあり方について更に説明を加えたいのですが、時間の関係もあり、次回以後の機会に逐次お話しし、御理解いただく様にしたいと思います。どうぞ皆様、本日は御ゆつくり、面白くお過ごし下さい。

※ 幹 事 報 告

12月30日の例会は28日に繰上げます。但し函館及函館東クラブの例会も28日となつておりますので、マーク・アップが出来ませんから御注意下さい。

※ ニ コ ニ コ 箱

商売御繁昌おめでとうございます。(例会遅刻 金賞)

深瀬君 塚田君 成田君